

県陵卒業30周年記念事業〔母校愛のリレー〕スタート



■県陵卒業30周年記念事業委員会発足

卒業30年を経ようとしている卒業生から、30周年を記念する行事をしたらとの提案があり、昭和55年1月同委員会（構成員1期生～5期生代表）設立、次の記念事業を実施することを議決した。

■学校行事（開校記念日・県陵祭等）の際、同期生による記念講演会を開催する。

■学校に、卒業生による図書コーナーを設け、図書を寄贈する。

■一期生より順次卒業30周年になった年次生が主体となり、本事業を実施して行く。

■記念講演

■テーマ：情報科学の立場から見た教育の未来像

■講師：東京大学教授（同期生）

山田 尚 勇

講演の要旨（県陵卒業30周年記念事業実施記録1回から抜粋（同窓会保管））

県陵祭の第一日目の開祭式後に開催。

コンピューターなどは、最近非常に進歩しており、数年後にはもっと低価格が進む。現在「L教室」など、教育に使用されているが、今後もっと大きな役割を果たすことになるであろう。だんだん夢のようなことも夢ではなくなってくるだろう。

情報科学の基礎や利用と、現状及び未来像について語ってくださり、今非常に発達している情報科学についての理解を深めることが出来たのではないだろうか。



■校訓「三大精神」の碑建立

念願の同碑建立工事が竣工

■除幕式：平成3年11月30日 13時より

■建立場所：生徒通用門前

■参集者：学校長・教頭・同窓会長・元母校書道教師 西川先生、石材店主 飯田千秋氏、生徒会役員と同期生合わせて約30名

